



環境経営の推進

環境保護推進体制

NTT西日本グループでは、「環境保護活動を推進することは社会とともにある企業の社会的責任である」という考えのもと、「NTT西日本グループ地球環境憲章」を制定しています。具体的な取り組み内容については、NTT西日本の環境経営推進室とグループ各社の環境担当が連携し、NTT西日本グループ内で環境方針や環境保護対策などを展開しています。2010年度には、新たに「NTT西日本グループ地球環境憲章」に「生物多様性の保全」に関する項目を追加しました。

NTT西日本グループ地球環境憲章

基本理念	
人類が自然と調和し、未来にわたり持続可能な発展を実現するため、NTTグループ地球環境憲章に則り、NTT西日本グループはグループ会社と一体になって、全ての企業活動において地球環境の保全に向けて最大限の努力を行ないます。	
基本方針	
1	法規制の遵守と社会的責任の遂行 環境保全に関する法規制を遵守し、国際的視野に立った企業責任を遂行します。
2	環境負荷の低減 温室効果ガス排出の低減と省エネルギー、紙などの省資源、廃棄物削減に行動計画目標を設定し、継続的改善に努めます。
3	環境マネジメントシステムの確立と維持 各事業所は環境マネジメントシステムの構築により自主的な環境保護に取り組み、環境汚染の未然防止と環境リスク低減を推進します。
4	環境技術の普及 ICTサービス等の研究開発成果の積極的な社会への普及を通じて、環境負荷低減に貢献します。
5	社会支援等による貢献 地域住民、行政等と連携した、日常的な環境保護活動への支援に努めます。
6	環境情報の公開 環境関連情報の公開により、社内外とのコミュニケーションを図ります。
7	生物多様性の保全 生物多様性と事業との関わりを把握し、生物多様性を将来世代に引き継ぐために取り組みを推進します。

環境経営「Save Resource Program」

NTT西日本グループでは、地球環境保護を企業としての重要な責務として捉え、「NTT西日本グループ中期経営戦略」のもと、環境経営の推進に取り組んでいます。

この環境経営を行うために自社のみならず、社会への環境負荷低減効果の還元を目的とした「Save Resource Program」を提唱し、2007年度から下記の4つの重点的なテーマを推進しています。

- ①お客様情報機器のリユース・リサイクル推進
- ②ネットワーク通信設備の省電力化・効率向上
- ③エコオフィス活動の推進
- ④環境ソリューション販売の促進

自主行動計画目標

NTT西日本グループは、「NTT西日本グループ地球環境憲章」に基づき、2010年度に向けた行動計画目標を掲げ、温暖化防止や廃棄物最終処分率低減に向けて、様々な取り組みを実施してきました。

その結果、行動計画目標で掲げていた2010年度の自主行動計画目標については、すべて達成することができました。(表1)

(表1) 自主行動計画目標

対策項目	自主行動計画目標 [※] (2010年目標値)	取り組み項目	結果
温暖化防止	CO ₂ 総排出量 2010年以降、2000年度を基準として契約者数原単位で15%以上削減する。	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量によるCO₂排出量の節減 社用車からのCO₂排出量の抑制 ガス・燃料消費によるCO₂排出量の節減 	契約者数原単位は18.9%となり目標を達成しました。
廃棄物最終処分率低減	産業廃棄物の最終総廃棄量を1998年レベルの50%以下にする。(3.1万t以下)	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み通信設備から発生する廃棄物の削減とリサイクルの推進 土木工事から発生する廃棄物の削減とリサイクルの推進 建築関連工事から発生する廃棄物の削減とリサイクルの推進 オフィス内廃棄物の削減とリサイクルの推進 	最終総廃棄量は、0.6万tとなり目標を達成しました。

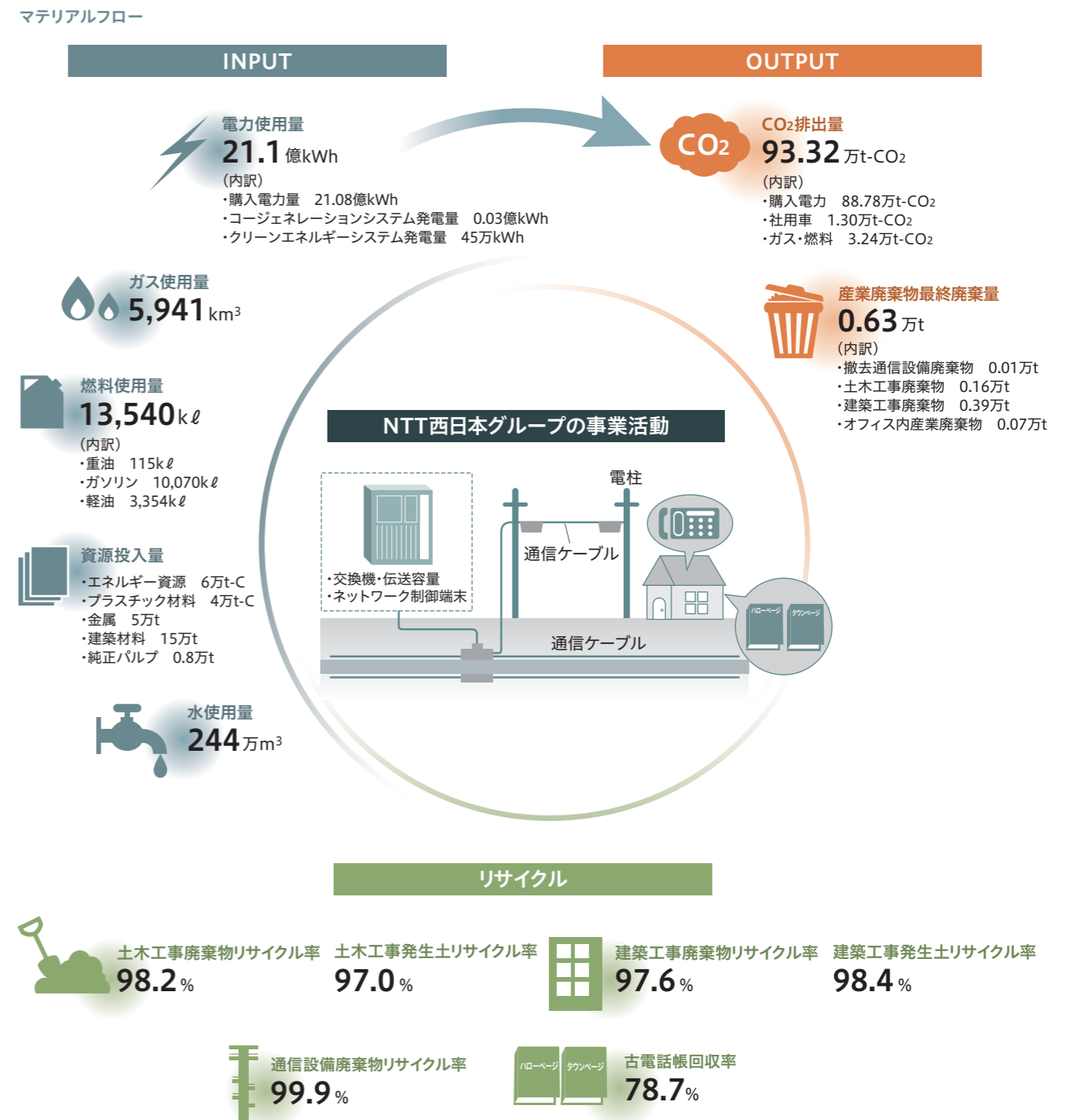
事業活動にかかわる環境負荷

西日本全域で事業を展開するNTT西日本グループは、事業規模も大きく、それだけに相当の環境負荷を与えています。

例えば、お客様の通話を可能とするためには、電話機、西日本全域に張り巡らされた通信ケーブル、および交換機

などのネットワークが必要となり、それらに関する物流、工事、運用、サービス、商品の提供といった事業活動には大きな環境負荷がともないます。

NTT西日本は、下図に示すマテリアルフローを定量的・定期的に把握し振り返ることにより、継続的な環境負荷の低減に役立てています。





TOPICS
2010

NTTグループ環境ビジョン

「THE GREEN VISION 2020」

NTTグループでは人類と地球が調和し、社会の持続可能な発展を実現するために、2020年度に向けた新たな取り組み方針をNTTグループ環境貢献ビジョン「THE GREEN VISION 2020」として策定(2010年11月)しました。(図1)

NTTグループ環境貢献ビジョン「THE GREEN VISION 2020」では、「低炭素社会の実現」、「循環型社会の形成」、「生物多様性の保全」を未来にわたって取り組むべき3つの環境テーマとして位置付けています。

3つの環境テーマ

(1) 低炭素社会の実現

地球温暖化を防止するため、自らの事業活動にともなうCO₂排出量を削減するとともに、ICTサービスを普及拡大させることで、社会全体のCO₂削減に貢献し、低炭素社会の実現をめざします。

(2) 循環型社会の形成

限られた資源を有効利用するため、自らの事業活動から排出されるすべての廃棄物と、紙使用量を削減することで、資源循環型社会の形成をめざします。

(3) 生物多様性の保全

生物多様性の保全に貢献するため、新たに策定した2つの取り組みの考え方にに基づき、これまで進めてきた取り組みの改善とさらなる発展をさせていきます。

3つの環境テーマの達成に向けては、「Green of ICT」、「Green by ICT」、「Green with Team NTT」という3つのアクションにより、NTT西日本においても取り組んでいます。(詳細はP24参照)

NTT西日本グループでは、低炭素社会の実現と、循環型社会の形成に向けて、特に電力削減量目標と紙使用量削減目標ならびに廃棄物最終処分率削減目標を「環境グランドデザイン」として策定しました。

NTT西日本グループでは、自主行動計画目標が2010年度

NTTグループ環境ビジョン「THE GREEN VISION 2020」



(図1)

で終了となったことを踏まえ、この「環境グランドデザイン」を新たな自主行動計画目標として位置づけ、取り組みを強化しています。

「環境グランドデザイン」で掲げる2020年度目標については下記のとおりです。

環境グランドデザイン

温暖化対策

- ・2008年度と比較し、2020年度には総CO₂排出量を40%削減^{※1}
- (参考)2008年度のCO₂排出量は91万t^{※2}

紙使用量削減

- ・2008年度と比較し、2020年度には総紙使用量を40%以上削減(参考)2008年度の総紙使用量は3.99万t
- ・2008年度と比較し、2015年度には一人あたりの事務用紙使用量を50%以上削減(参考)2008年度の一人あたりの事務用紙使用量は、0.99万枚

廃棄物最終処分率低減

- ・2020年度には全廃棄物合計の最終処分率を1.0%(ゼロエミッション)^{※3}に(参考)2008年度の最終処分率は2.1%
- ・撤去した通信設備廃棄物については、最終処分率0.1%を維持

※1 電気事業連合会が東日本大震災前に公表した2020年度目標の排出係数0.33kg/kWhを用いて算出しています。今後、東日本大震災の影響等により排出係数の変更がある場合は、見直すことがあります。

※2 2008年度の実績については、電気事業連合会が公表している排出係数0.44kg/kWhを用いて算出しています。

※3 国連大学が提唱した構想で、産業から排出されるすべての廃棄物や副産物がほかの産業の資源として活用され、全体として廃棄物を生み出さない生産をめざそうとするもの。NTT西日本グループでは、最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義。

3つの環境テーマの達成に向けては、「Green of ICT」、「Green by ICT」、「Green with Team NTT」という3つのアクションにより、取り組んでおり、ここでは代表的な取り組みについてご紹介させていただきます。

OF

Green of ICT

事業活動にともない、排出される自社のCO₂排出量を削減する取り組み

NTT西日本グループは従来のエコオフィスの取り組みを発展させ、省エネルギー・省資源化の取り組みに加えて、「業務の効率化」、「セキュリティの向上」、「BCP対策」など、オフィス環境におけるさまざまな課題を解決する各種ICTソリューションや、社員同士の多様なコミュニケーションを可能とするオフィスデザインを導入したモデルオフィスを、大阪・名古屋・福岡の3カ所に開設しました。

これらのモデルオフィスでは、お客様に実際のオフィス環境を「見て・触れて・体感」していただくことができます。

(図2) モデルオフィスの概要

◆ワークスペース



◆オープン・フレキシブルな会議室



営業/SEが機動的にプロジェクトワークできるよう、自由にレイアウト可能(フリーアドレス・FMC・ホワイトボード間仕切り・クローバ型機等を利用)

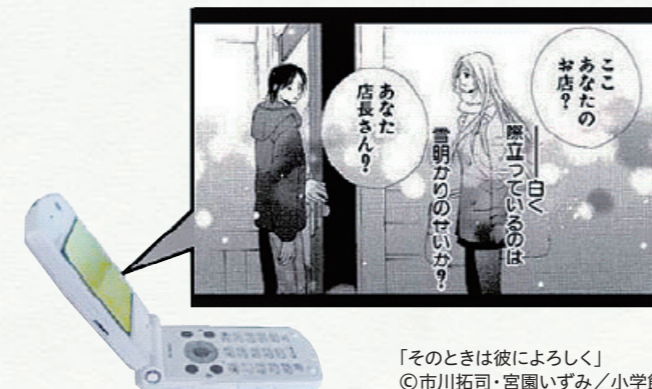
可動・分割可能な机によるフレキシブルな会議室で、間仕切りの開放により、オフィスの一部としても利用可能。高精細TV会議システムによるエコ会議も可能

Green by ICT

さまざまなサービスやソリューションを社会に提供することにより、社会のCO₂排出量削減に貢献する取り組み

BY

(図3) 電子コミックのイメージ



「そのときは彼によるしく」
©市川拓司・宮園いずみ/小学館

NTT西日本グループでは、ICTソリューションをお客様に提供することにより、社会のCO₂排出量削減に貢献できると考え、TV会議システムやeラーニングシステム等の環境に優しいさまざまなICTソリューションを提供しています。

その一つとして、NTTソルマーレでは、今まで書籍が一般的だったコミックを電子化して配信する「電子コミック」サービス(図3)を提供しています。「電子コミック」サービスでは、ペーパーレス化による紙資源の節減や、印刷や物流にともなうCO₂排出量の削減等に貢献しています。

WITH

Green with Team NTT

社員の家庭や地域活動において、CO₂排出量の削減や環境美化活動に貢献する取り組み

NTT西日本グループは、2009年度から「Green with Team NTT」という名のもと、社員に加え、その家族、退職した方々、地域社会の皆様のご協力をいただきながら環境保護活動や社会貢献活動に取り組んできました。2010年度からは、その一環として、「NTT西日本グループ植樹プロジェクト」ならびに「NTT西日本グループ葵プロジェクト」を開始しました。



NTT西日本グループ植樹プロジェクト



NTT西日本グループ葵プロジェクト